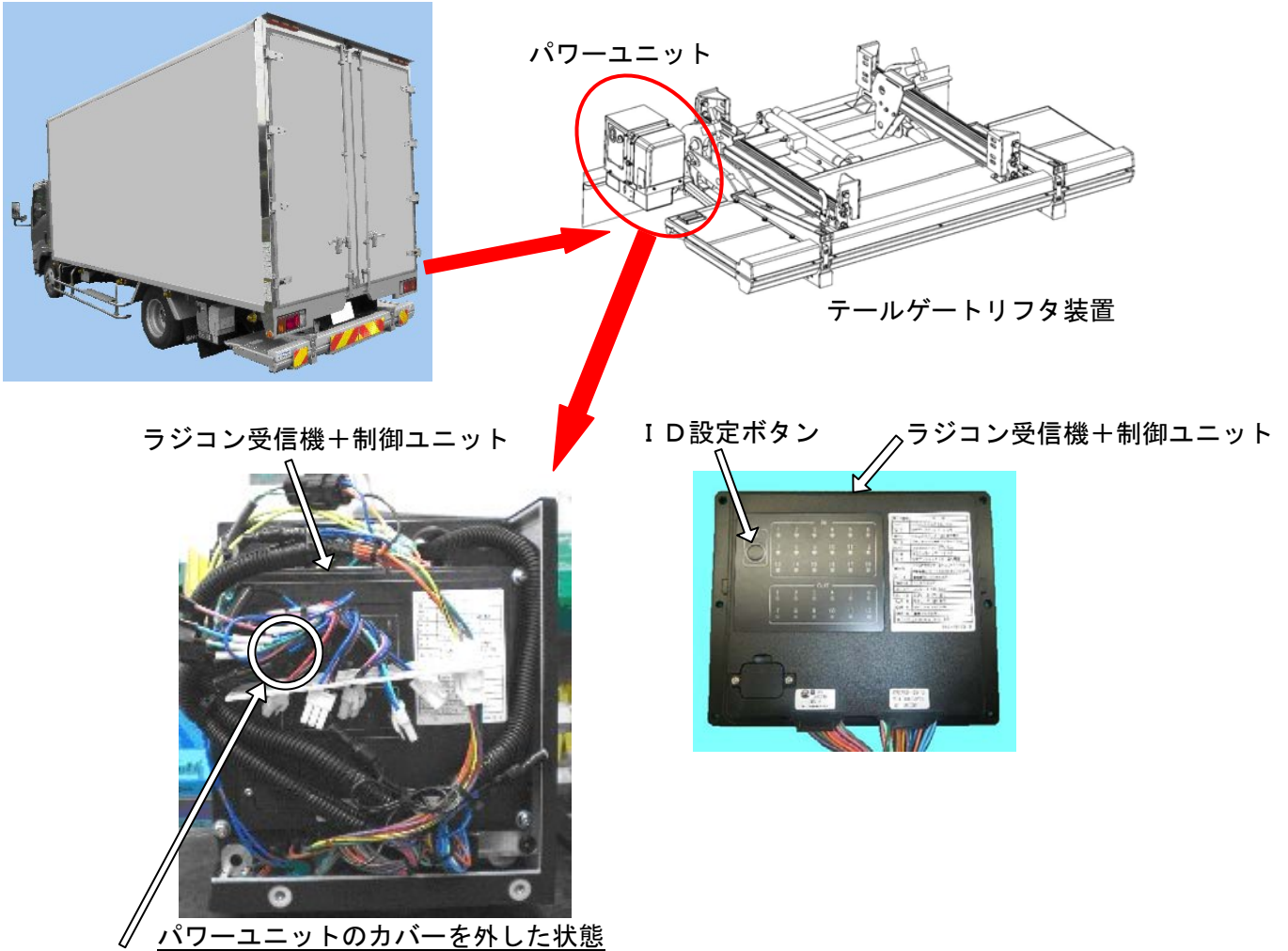


改善箇所説明図①

パワーユニット内ラジコン受信機 I D ボタン部の改善



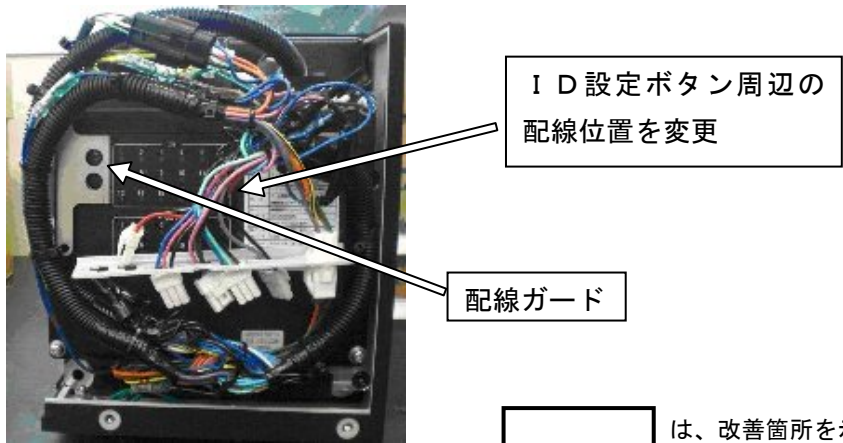
改善前形状

不具合発生箇所（I D 設定ボタンが配線で押された状態になる場合がある）

床下スライド格納型テールゲートリフタ装置のパワーユニットにおいて、ラジコン受信機の無線電波を受信設定するために使用する I D 設定ボタンが配線で押されているものがある。そのため、当該ボタンが押された状態で使用した場合、常に無線電波の受信設定を行うことから、当該車両の周辺で他のラジコン送信機が操作されると、その電波を受信してテールゲートリフタ装置が作動するおそれがある。

改善内容：全車両、ラジコン受信機の I D 設定ボタンに配線ガードを追加する。また I D 設定ボタン周辺の配線位置を変更する。

改善後形状



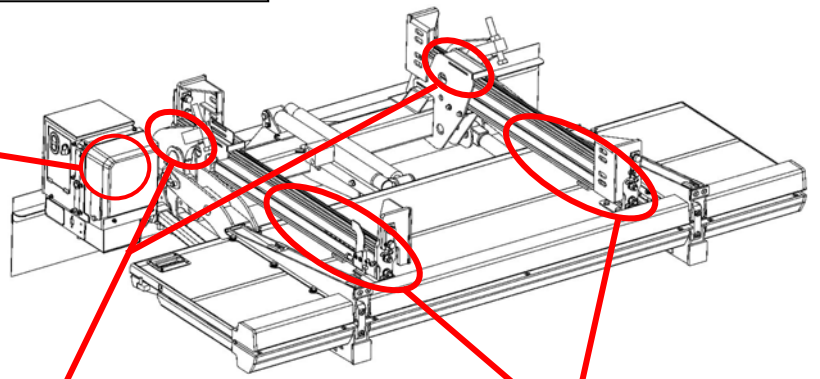
は、改善箇所を示す

改善箇所説明図②

スライド不良の改善



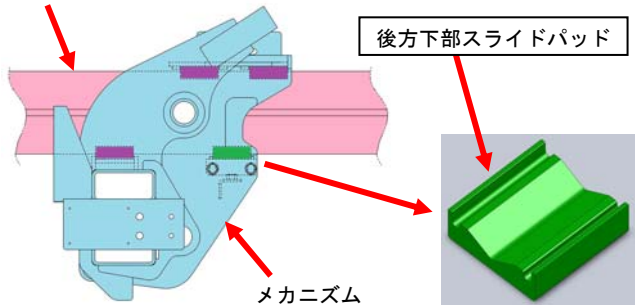
ラジコン受信機+制御ユニット



スライドレールにテールゲートが押し付けられる。

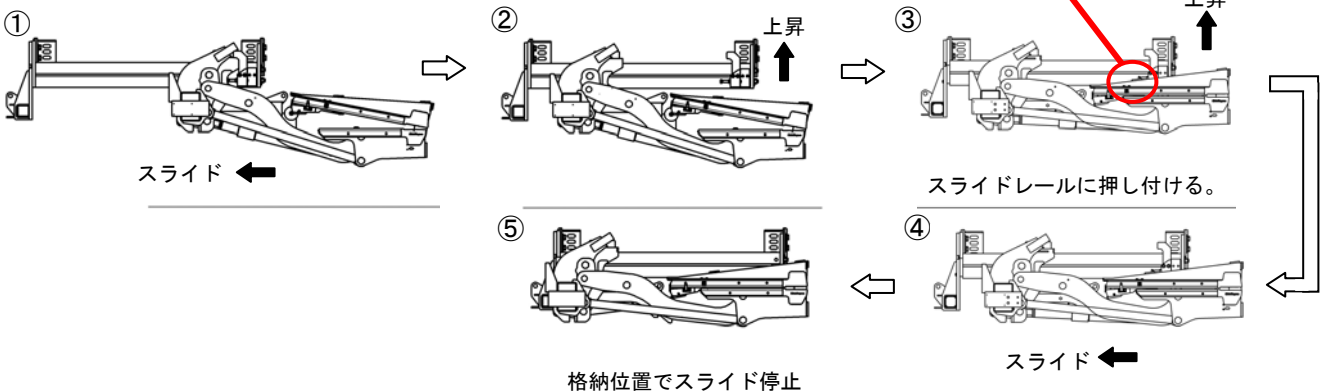
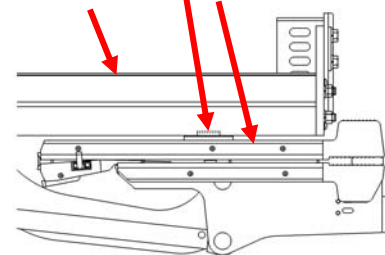
スライドレール

後方下部スライドパッド



メカニズム

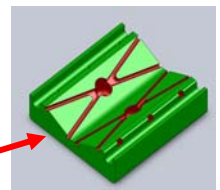
スライドレール テールゲート



床下スライド格納型テールゲートリフタ装置において、テールゲートリフタを格納させるための動作が不適切なため、テールゲートをスライドレール下面へ押しつけた状態でスライド動作を行うことから、摺動グリースが切れた状態で使用した場合、テールゲートとスライドレールの摺動抵抗が大きくなり、スライド動作が著しく遅くなる。

改善内容：全車両、テールゲートリフタを格納するための制御プログラムを変更する。また、後方下部スライドパッドをグリースだまりを追加した対策型に交換する。

対策型の後方下部スライドパッド



は、改善箇所を示す。

識別：改善実施済車には、製造番号銘板に白色のレ点を入れる。